<sup>操列点染</sup> **対** 奉天·新京 中谷時計店旗部

國境線

一月廿四日

追なくその歳りし被害亦甚は射撃事件越境等々枚擧に は射撃事件越境等々枚擧に を論じ更に支那並に歐米列國東に於ける日本の優越的地位日のを1ニングポスト紙は極日のを11とのでは、12とのでは、1

に侵入し米り「該地は元來り)「オラカンカ」監観所り)「オラカンカ」監観所

○ 一月九日○ 一月九日○ 一月九日 蒙兵侵入し派遣隊の情況を「コントロン」監視哨に外 、一月廿一日

の地圖

が證明

**發行(百五萬分の一)支那** 

譯である

協定交渉を開始せんど急ぐ

兵もない

和田部隊長の苦心

2、右不法事件勃發するや外意側は「シナヤ」より哈爾帝に向ひ增援隊を發せり哈に向ひ增援隊を發せり略に向ひ增援隊を發せり

「タムスク」に引致監禁せに於て放牧中の同廟喇嘛僧に於て放牧中の同廟喇嘛僧に於て放牧中の同廟喇嘛僧

関境監視所の撤退、十一月 監視所撤退æいて三月中旬 の止むなき撤退あり、國境の「ボルンデルス」監視所

# 本 Annが地方がハルハ河をも 地圏にも明示されてのることは満洲事變前におい 中俄交界今岡にも明瞭にへて支那側の東三省政権の作 ルハ河をもつて境界として製せる地岡及び事變前後に ある 地圏にも明示されてのる

米列國に

ハ河附近に一兵の外蒙兵もな く交渉相 手がないので他の方法で交渉を開始領を完全に回復した、而して和田 部隊長 は外蒙兵と交渉を求めたが目下ハハ河以北に残留せる蒙古兵を掃蕩し終り、こゝに外 蒙兵に 占領されてゐたルハ廟を奪還せる和田部隊長の率ゆる日満 聯合部隊は三十一日 夜引續きハ

としてゐる

外蒙兵の越境暴行

滿洲國

の承認を慫慂

くつて、窮邸は、しきりにア

| ハルハ河附近における今次の| が雨者の衝突を基因せしぬ | 場常な注意を喚起し、最近で もハルハ河をもつて雨園に との新聞報導によつて各國に べき點なく右の諸點に照し との新聞報導によつて各國に べき點なく右の諸點に照し 地方の境界は何等疑惑を生 もハルハ河をもつて雨園に である たることは明確である 事變前後の

って境界として

岡にも明瞭にへ

軍測量財發行の

局發行(百五萬分の一)滿

東北地方及び一九三三年同

洲交通路岡の兩者は何れも

帝制ロシア交通ー

に同局編輯一九二八年發行蒙古の境界となしてゐる更

點はない筈である

が結ばれゝ を翼ふのみ エーニングポスト紙論説

であるから平和 満郵問題解決に伴ふ普通郵便 不和安定の回復 満一支 通 郵 順調 を容離することは出来ない

容四分五裂の政友清算の好機容四分五裂の政友清算の好機 りもなく潰走、暴に酬ゆるに日滿軍の鱖起に外蒙兵一たま 暴にはあら

家郷を加ふ李薗の明星鴈文郎窓に近く、李薗の明星鴈文郎窓に近く、

厄機漲る

旅館でサービス協議、協議よ 豆る佛門の醜事去つて明朗、 南無阿彌陀佛

作遂に絶望か

H

日

西境蒙古人に對して相食む 等外蒙兵が同種同族の

外豪と呼倫貝爾との國境線 は元來具爾湖の中央を通過 し「ハルハ」河に出であり しも外蒙側は其後河川の變態を見るや「シャラルンゴ 態を見るや「シャラルンゴ 能を見るや「シャラルンゴ して越境侵入し其領域を擴 大するのみならず哨兵で配 間し附近漁塲を完全に入手

巴爾虎左翼正白旗第一

京

は益々頻發するに至つたが終願湖方面に於る越境掠奪暴行

三、三月下旬

「ボルンデス」監視所に武敬外職兵侵入し同監視所を製外職兵侵入し同監視所を

ムスク』に引致監禁す」と 然らざれば全員逮捕し『タ 然らざれば全員逮捕し『タ

政府、政友の工

止面衝突

滿軍斷乎擊破せん

聞新

五、八月でれたり

要病監疾「トルボルデン」 に於て外蒙より侵入せる武 に於て外蒙より侵入せる武

を 依つて發生せるもので外蒙兵 日松平駐英大使以下各在外使 は外蒙兵の満洲國領域侵入に は外蒙兵の満洲國領域侵入に

駐在當外國に夫々適當の機會

むること」なつた

が得策であらう。若し支那

資本を提供

方針を執るもので

ある旨を各

家を承認し争ひを止める事 家を承認し争ひを止める事 が絶望となつた今日、新國

が無いから此途

間の平均一日通過微數は左のの山海陽通過は其後順調に行

諸國も今後は率

支那メイルで表数

協議し共同して

支那メイル 満洲國差出行襲数 である。

anna . 本の優勢は之

支那メイル 八三 大の東部メイル 八三 下山海陽、古北町に於(開露を附したる郵便物数 二四六八 二二十二 一二一

月上旬

我外務省は不必要に不當

日午後

問質國再衆

の一例として南阿の羊毛質の一例として南阿の羊毛質型する量は何程か 翌する量は何程か 翌する量は何程か との値開きは輸出業者が負 との値開きは輸出業者が負 との値開きは輸出業者が負

数せられ「タムスク」司令於て狩獵中外蒙赤軍の爲拉於て狩獵中外蒙赤軍の爲拉

國疑惑の

外相在外大公使へ眞相打電

る二月八、九日頃ではないかと見られて今後なりつゝあるが妥協工作が態よ失敗に終ればに途なく結局正面衝突による議會解散は必然に

後の推移が重大観されてゐる

ば解散の危機は豫算案に對する討議を決定す然的な情勢とならうとの見解が次第に有力と

吸友會の關係はこの行詰りのまゝ進む以外

政府はもとより事件不擴大のある確約を爲すに於ては日本

事件に

組社員〉三十一日來京國都 り實行が先 往來

▲本岡長蔵氏(會社員)同 ◆小林太氏(會社員)一日來 京同 ※組藤義也氏(鐵嶺商工會議 所會頭)同 人源田松三氏(財政部税務司 長)一日午前十時發內地へ 長)一日午前十時發內地へ 一日午前八時五十分濟大連 から大和ホテル投宿 から大和ホテル投宿 から大和ホテル投宿 から大和な子ので表現。 「一日中前十時發內地へ 一日年前十時發內地へ 一日年前一時至一分濟大連 から大和な子ので表現。 「一日中前十時發內地へ 一日中前十時發內地へ

● Ram 新男氏(大連會社員) 一日午前八時五十分層大連から大和ホテル投宿 一日午前八時五十分層大連から大和ホテル投宿 「新書記長)同 「本書一郎氏(大連商工會議所書記長)同 一日午前七八連商工會議所書記長)同 一日年前十年八年一章 「大連商工會議」「同 一日年前十年一章 「大連商工會議」「同 「大連商工會議」「同

その日

政友の反目日に募り、

**興會議列席** 

れる大難會議の兩國側代表は左の如くで 日支双方委員决定

機の質にかきまはされて、裏弘

ものでも見るやうに、早前の とぶつた。そして、からしい からしい 見て、メンスを止めた窮以は、 かの女の、唇が、さら聞いたた うにして、既を喰しながら、 そして、単節のチばへ椅子をレコードを止めたのだった。へ できしたんだい? かいは、

高いは、云つた。

てゐて棚手にしなかつた。 らとしたが、早田は、何か考へ がて早前のあるがへ、聴りたってあるのだった。そして、 な眼つきをしながら、夢中にな へたましていかれは、船るやう ら近づいてくると、 関手をさし と、早前の呼んだをは、警官 お兄さん!」 離りなが 「あたし、よてわ!」 て、嘉弘は、笑ひを立てた。 てんだか。もつと魅かになり於 と、学は、な化すやうにいつ

ないか!……おい事故ちゃん。また君、盛田とかつて男のこと さるこ なるんだいでおや止めとくさつ 『ほんとに、側面目に聞いて下 「何だよ」 「ちえつ、敵はねえや。だから 「ふん、これ以上どう瞬間中にて下さらないんですもの」 富永正平氏(矢原商會員)

東京の

(C禁上映上演轉載)) 最後の切れ 女八人感激時代■■

柳 唉子……我 田 樂子 大林梅子……我 那子……夏川 聯 江

當局談 限りある人生川門の近海

沈んであるのだった。 ってるる嘉弘の茂 とした眼をかけてなく。 た早苗は、 この影内には、音樂に難した ひとりでダンスをや なく、 なんやり

はななものが深山端へ立てられているで、その他、嘉弘の趣味と りへ、難つた数がちの書や影然 などの奇を従った数解が、天城 と、いつもこんな調子で、裏は、ちはついてあるのだった。 たよりない類もちになつてきてたよりない類もちになってきてたよりない類もちになってきていってんな相談して てためらつてあると、

学ば、奥ひかけたタパコをくは「促した。」 その端の方のじゆうたんをめ てきばき離してしまへよ」 『どうしたんだよ。おい! 解 と、タパコに火を貼けながら

省統計及地圖課發行アジア バルガ地方と外蒙古との境地圏にもハルハ河をもつて地圏にもハルハ河をもつての「バルガ」(ホロンバイ 界と記載してある界と記載してある 編輯世界商業地圖にもハル英國發行のベン、モルガン ハ河をもつて境界としてゐ

疑惑等

中央部を南北に分ち満洲の中央部を南北に分ち満洲の中央部を南北に分ち満洲を外蒙との行政的境界と記載してある、從つてこの地域によればハルハ河の南方一帶までも満洲領内となる 事變前陸軍省陸地測量部發 ハルハ河をもつて境界とし 行の同地方の地岡も明確に

をもつて嗣國境界をあって嗣國境界をあって嗣國境界と生ずは何等疑惑を生ずるに至ったが、同

日本大使館

は各國で發行された地圖に 古との境界としてゐること地方における滿洲國と外蒙 ルハ河をもつてハルハ河 大使館當局では語る そこの、松子の一つに腰を贈しスをやめやりとはしなかつた。

「兄さん、聞いて下さる?」 と、ぶつ

味覺で立つ―

回参町ニノ九 ジャーコート AT 三条町ニノ九を作用 玉台店 至急譲る

齒 科外腔口 三廿亚中中京新

一寸振りかへつただけで、ダン と、早苗は、鯉か駿踊するや早苗が入ってきても、薫弘は一少し考へてることがあるの」が 0

撞球 收入多大

◎を生じて大評判 食道樂 青

一等入賞名譽金牌受領 福田支店

は出さんに会つて、あたしり、 つめてるたが、 では、兄さん。後生だから代下

よべいで.

見大佐、 岩仲中佐、松井中佐

昨日午後の

(-)

(東京國通ン卅一日午後の衆 勝制問題に就き高橋敷相に質 勝制問題に就き高橋敷相に質 所相に質問を試みたが八角君 は特に支那の航空設備に就き 外相と左の如き一問一答を寫

大型 で 大工

來ず二人は思ひあまつてあの切られぬ深い仲となつて身間切られぬ深い仲となつて身間

〈寓真は死を前に記念の撮影〉

稻川驛長初の御手なみ

夜南軍司令官に隨行して來連してゐるが、右につき三十日

へられ相當不安な空氣を醸成あらうとの風説が從來屢々傳

断じて無い、昨今漸く鎖靜の異動が行はれる様な事は

署号級の大奥動が行はれるで を整備・共に過般の機構問 を整備・共に過般の機構問 を整備・共に過般の機構問 を対理動の指導階級を清算

を普通の意味の人事異動が を普通の意味の人事異動が である、將

- 日 着任挨拶に來社した

革反對運動を清算する意味

南司令官側近者談

桐

四月から實施

電々會社異動

館に鐵道で

単型 泉● 地方販賣店募集 地方販賣店募集

會合資

旅行シーズンを控えて

村雁治郎丈

薄利多賣

萬全を期す當局

ビス協議

問題で不安な空氣

らくは此苦惱が消え去るでしたり脱してしまつたら恐の内にあるのみである、現現世よさらば、自由は只死

(=)

### 女は寛城子料亭玉川の酌婦 男は自稱外交部役人

如き二通の遺書が残されてあ たともなく宛てられた左の はにともなく宛てられた左の である。 死への伴

でも死ななければならなかでたのです、人肉の市場に 下さい、私達はどうし

思はなか

彼女の實妹は語る

姉ハッ子と同じく玉川に酌解 一でとめをしてゐる妹セッ子 へ 一でとめをしてゐる妹セッ子 へ 一般名)は姉の變り果でた姿を 前に泣きぬれて語る な川さんが初めて見えたの は多分昨年の十月頃かと思 ひます、最近になつて繁々 とおいでのやうで、現に卅

たのは昨年十月頃が初めてたのは昨年十月頃が初めてなしく金川さんと遊び出しないまたが非常におと

ることになつてゐた處です た、また一週間動から落繕 た、また一週間動から落繕

原○隊全

| 「本大阪道」 | 「本大阪道」 | 下のでは早くからあらして | 一日午後三時三十分より約二 | 「大学向ひでお酒を召上つ | 市間に耳り夏家堡子、西原西 | であらしたやうですそれか | 北八里北方約一里の陽家堡子 | であらしたやうですそれか | 北八里北方約一里の陽家堡子 | 大東 | 大阪で原道全勝の率ある約三 | 者を | でませんでした | ではませんでした | ではませんでした | ではませんでした | ではませんでした | でませんでした | ではませんでした | でませんでした | でませんではませんでした | でませんでした | でませんでした | でませんでした | ではませんでした | ではませんでした | ではませんでした | ではませんでした | ではませんでした | ではませんではませんでした | ではませんでした | ではませんでした。 | ではませんでした | ではませんではませんではませんでした。 | ではませんではませんでした | ではませんでした | ではませんでした | ではまたんではませんではませんでした。 | ではまたんではませんでした | ではまたんではまたんではませんでした。 | ではまたんではまたんではまたんではまたんではまたんではませんではまたんではませんではまたんではまたんではまたんではまたんではまたんではませんではまた 出身 出身 一等兵 然田捨一氏 重傷 驅島縣東白河郡笹原 村出身 句佛師の復歸

生滿署長の異動

何卒御利用を・・・

田等皆店

斯京三笠町二丁目十一

根據なき浮説

正式 央定 「東京関通」前法主大谷句佛 に東京関通」前法主大谷句佛 では三十一日代表

時より扇芳グリルに在新官民時より扇芳グリルに在新官民時より扇芳グリルに在新官民

別機き十方権信徒の家内安全市内曙町禪宗大正寺にては来 節分と星祭

組合

銀行

まで受付ける由

を求め、終つて骸を養して九僧所長清水末一氏以下の習任

瀬尾中尉の

各方面招

業する 業する 業する 家名先つ役員より歴歌組會を催したが來

10九円七0銭

吉

五月藩工、七十日で竣工の登 記を兵科有志、滿洲航空會社 其他である。

砂栗対威幣 寄不金票對砂票 10点 金票對砂票 10点

寄不付付

白木米炭

成の程度々具體化し 強起 の程度々具體化し 強起 の対象性に 忠魂碑 艶立の計 の対象性に とっため

四五兩日休業

原除に送られること」なった 源田司長出發

松三氏は一日午前十時酸あじ洋行する財政部税務司長源田 めで日滿官民多酸の見設裡に

●御一報次第配達迅速

西四馬路(民政部前)

と共に去る廿四日酸弾のため 最死した満洲國軍測尾後夫中 尉(二大)の屍體を發見、直 ちにこれを手厚く收容、見る も痛々しい殉職勇士の亡骸は 白木の棺に收めてハイラルの

原隊に移送

本人 を記載に、 を記述し、 を記述

在新京日本總領事館

新京中央電話局 電話第四九三〇番 林特產優秀 卸小 品◆ 別は月 京正第 でま酒 地

B

丸富商店 電話六七二二番 休定 電氣の店 和登洋行 十五日 營業時間(至午後八時等) 新京日本橋通

同仁醫院

話一交流等

常出げの大学

●診療時間●

外科、性病科

自年前九時至午後

●希望者は履懸書を要す至急來店あり度し

名 名

募

新京大經路西四馬角 福長公司 電話長六三九六番

玉川の女將は語る てかけつけたが今更何とも 只今警察からの呼出があつ

車膏薬組合のほかに別個の新たが、その根本策としては現またが、その根本策としては現またのでものである。

日 大連國通」電々會社では一 新成子電話局長を命ず 新城子電話局長を命ず 延吉電報局在動を命ず 延吉電報局書記田中平三郎 延吉電報局書記田中平三郎 頭道溝電話局長象数 長を命ず、朝陽川局副参事を命ず、 板倉機八士の

1、旅館、交通機闘等型り旅行シーズンを目

附屬地分隊

劍道納會

【大阪関通】廿八日早曉危篤 の狀態に陥つた中村鴈治郎丈 は一日午前五時廿分大阪郷太 病院に於て遼に逝去した、享

お遊びは お遊びは ただ尖端を走る

御一見をおまず

三三町と丁目

112

( 準備中で

不良は斷然組合から除名

武藤組合主事の談

るる金額では不足すると思 な、幸ひなことにはわが組

つもりだ

各方面に

を常置

本る昭和七年九月二十七日不 大る昭和七年九月二十七日不 大会昭和七年九月二十七日不 **岸なき意見の交換をな** 米者側、鐵道關係者側 いて國都の旅館とし 

忠魂碑

蘇京輝では一日午後一時から 新京驛主務者會 公會堂書記長

財國法人新京記念公會堂書記

學教授黒河龍三氏は一日逝去 分逝去、遊儀は一日午後三時 叶はず、三十日午前九時三十氏夫人初江さんは産後の療養

H

二月二、三日

午后六時より

新京拳闘協會

發會記念試合

新京記念公會堂三

寺で極めて盛儀に執行はれた殿し、同四時から説町西本願

日滿露選手對抗大試合

Mを験告し、終って既に复消の第一工作は一段落のMを除く十一ヶ商工團体代表者、先づ石崎聯合會長い合會では一日午前十時から新京商工會議所に臨時

から反消運動の今日に至るまでの經過を介護経議會を開育、列席者は遠陽を介護経過を開発、列席者は遠陽を

こ髪店主な

學生 軍人 警官 牛額 るフェ 主催 新京拳

斯 万事務所社會係 社 闘協 新京日日新聞社

對し見録品を贈つたへ宮間は左より 衛戌病院慰問婦門

もなかったい

意見を聴い

稲川新京驛長語る

消費組合問

題で

けふ全満商議協議會

第二段の對策を協議

(イ) 願慕小路

**ささ** 高る

**₹** 

〇一 経

倉

〇、〇一 経濟市況
〇、三〇 ニュース(漢語)
〇、五〇 海際(レコード)
〇、五〇 海際(レコード)
〇、五〇 海際(レコード)
〇、五〇 海際(レコード)
〇 大連より)
二、1〇 成人講座(滿語)
上電嚴塞期中の衛生
民政部衛生防疫科長
趙 國 仁
三八四〇 日用品値段
(東京より)

本、三〇 ラデオ體操

六、三〇 ラデオ體操

六、三〇 ラデオ體操

七、一〇 中等適語解

七、四〇 日語講座

七、四〇 日語講座

七、四〇 日語講座

七、四〇 日語講座

七、四〇 経済市况

八、三〇 経済市况

八、三〇 料理戲立

「大連より)

一〇、二〇 經濟市况

「大連より)

一〇、二〇 經濟市况

「東京より)

一〇、二〇 經濟市况

「東京より)

一〇、二〇 經濟市况

「東京より)

一〇、二〇 經濟市况

「東京より)

一〇、三九時報(東京より)

菊郎 ●五黄の人 目前の感情に顯 一五黄の人 目前の感情に顯 ○大白の人 虚榮弧ければ不 意に急轉直下することあり ●七赤の人 身體さへ健全な

七、一〇 新內C東京より」 岩木仇名章 曾 富士松富士太夫 同 富士松富士太夫 中奏日本ビクター管数樂團中奏日本ビクター管数樂團中奏日本ビクター管数樂團中奏日本ビクター管数樂團中奏日本ビクター管数樂團中奏日本ビクター管数樂團 石川吟醸 電話四人士の書

三、三〇 (大連より) 三、三〇 (大連より) 三、三〇 (大連より) 三、三〇 (大連より) 三、五〇 (大連より) 海陽 (東京より) 海陽 (東京より) 海陽 (東京より) 神 (東京・ (東京・ (東京・ (東京・ (東京・ (東京・ )) が (東京・ (東京・ )) が (東京・ )) が (東京・ ) が (東 五、二五、気象通報、番組五、二五、気象通報、番組大、二〇、政府公報(通語)大、二〇、政府公報(通語)大、三〇、國民の時間大、三〇、國民の時間活動。 第々々に成功に近き行く日の経の人 信念張ければ大

ベルコ・トツデーロク るざ見を比のそ倫もに中學文代近 しか脆に下足を精勇の界世は美の …くゆけ開は史騷の年千二トフジ

●二黒の人 窓看も一時の苦 専の菜務を雕むが安全の日 庚と辛と艮が吉 亦来るべし

日 二 月 二 日九廿月二十五 十一日连續三回十二日連續三回十二日連續三回十二日中華

公會堂

九無行 ○如何 ○ 如何 古

一個の處八十錢一個の處八十錢

育乳小 見見 見 科科 電五二四三 院隨意 れ訪の度再に京新大王笑爆の界才萬・男物名の神阪京

小倉久雄

商業學校正門前

(講話) (哈爾濱より) 「東外グス主義理論の旅信」、ショード ニス・オース

四日が三日間

每夕五時半

公會堂

最後の一人迄 はろよい人生 はろよい人生 新京映畵鑑賞會 V 六四十八四二 十十八日日 五日日 金数各薬店並んあり

公公公公公公公 一五三二 十十十 同同同母母母

**位式合业** 本 舖 東京市神田區豊島町

藤井得三郎商店 

RIUKAKU-SAN Good Medicine for The Cough and Asthma

(監) / ぜんそくにてゼイゼイ息頭する人(型) / 世ので、たんとて常にゴホンゴホン間も人(型) / 肺病にて常にガなるせきの出る人(型) / 肺病にて常にガなるせきの出る人(型) / 音響のかれびは関するようにないますがある。 (型) / 音響のかれびは関いなるとのでは、人(型) / 音響のかれびは関いなるという。 龍角散 の適應容能書



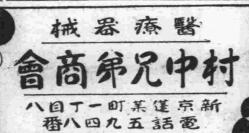


携帯薬として又盛んなる需要 らず温泉、スキー場等の旅行 角散は家庭常備薬としてのみな を脚はしますので盆水賣行激甚 オプラートを用ひず、爽やか をほうるりはす。 を極めて居ります。殊に近野龍 解説の喘息にく大ゐなる効果 をお聴下さいましたか。永年 的と治療の出來。龍角散の評判 にて心地よく、胸・咽喉・ しとする香を素味の中に徹底 七

今にそ治療季



茶道具と陶器類









信 官

遞

金木各荷自特 





目品業營

車軸 油 建築用油 油 油

隆泰公司商事部 新京吉野町 丁目二番地

廣 告 0 御 用 命 11 電 話

0

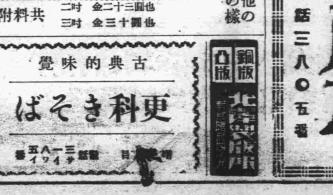
三三〇〇番

特約店 理店 泰 平 洋 行ら蒸溜水の代用水が得られます安心して飲めます **チブス菌を完全に除** 平 洋 行 大が得られます

中型三分計 1 間 3 0 級 伸放一分計 1 間 5 0 級

上圖は家庭用二吋の濾水器を水

道栓に取附たもの



11

松風濾水氣 に薬持 取品殊 投ひが面倒であれてあれてあれている素焼陶管で濾れ 古 野 町 T ません器のば他の

三二二二二二 何他仙 \* \*\*\*他 望望重望望显容

▲大連上海向

五十回丁一町衆蓬京新 丁牛へ西馨実警京新 世のハー三話電

★大連煙合向

に 総合教授

近にジャ

北京華北天骨董ヒ

舊

翡翠

買

◆品目▶

多少二不的即用便完

新京射越屋

1回に二次分型 1回 二次分型 型側へ分型 で一個比(表分)型 一次・個分) 一次・用売加 一次・日本 二分 一 一次・日本 二分 一

第三回

**素弗** 

大大八〇

紐 育 向 ||]

出來高

現大洋對鈔 票對 國

票幣票

寄寄不 不 付付付

あ

まは

天狗。

4

籫

石

董

ます何卒店內御一時

北日本汽船

の主食用たる夫等難穀の品米等の減取に起因せる滿人

第二回 一志弄 二分元第二回 一志弄 二分元

新京市况

10九四七0個

麥粉市况

新

金

融

概

支

銀行

長

開銀行として熱河県を設行し に配合整理し、又咋年二月熱 に配合整理し、又咋年二月熱

位に進んだ

行號支行を接收しまして、現 年三月黒河財政接收に伴ひ舊 年三月黒河財政接收に伴ひ舊 年三月黒河財政接收に伴ひ舊

話電 ◎高級……

七三新車

番番

神用。電三三〇〇世

月下

如一

行

(四) 减洲中央銀行

は舊軍閥を背景とする東三省 官銀銭號、選業銀行、吉林永衡 管銀銭號、選業銀行、吉林永衡 はお互に錯綜して居つたので はお互に錯綜して居つたので 十六號滿洲中央銀行法及同日 大同元年六月十一日激令第二 大同元年六月十一日激令第二

大興公司といふ株式會社を設立して之に酒造、製油、當、 並して之に酒造、製油、當、 難貨商、代理業を經營せしむ る事とし、尙問題の特産商を 酸止したのであります、之に 依つて中央銀行の機能を大分 を施して强化されたのでありますが、それでは現在どうい ふエ合に活躍してゐるか、之

辦事處八、總行を加へて營業 居ります、從つて行員數も頗る多く昨年六月末現在で二千八百六十餘人を數へて居ります、在る「中滿洲國外に在る」。 「原、率天、新京の滿鐵附屬地 に各々一つ宛あります

観の的となつてゐる 観の的となつてゐる 東京域通)大蔵省競表ー 月下旬對外貿易概算左の如 (單位千圓) 輸出 九六、一五一 合計 二〇二、六一九 一月上旬以降累十 会輸出 小麥粉 1 小麥粉 1 小麥粉 1 重要品輸出入額は左の カス 一〇六、四六八 八一〇六、四六八 四六八 三一七超 一〇、三一七 一〇、三一七 一〇、三一七 一〇、三一七 一〇、三一七

大和通六十一 

にも拘はらず相場は强調をを來すに至り折柄の産地安を來すに至り折柄の産地安共に奥地行荷動き活潑とな

を押を賃たのを被悦不に二家が腹田思へ以不らみ壓支を當名のとたを一家のつ納ずに迫配政なを丸結め肥味老 重ての、他す階行る籍修托費さは大 壓差故年きる級し増り楽し木ん私和

護婦系

地區八島 地區八島町

万洋曼和 -

三名

東亞與業株式會社新京出張所新京特別市新發屯清和街第一〇一號新京特別市新發屯清和街第一〇一號 温水式煖房、水平 一家 三疊、四新發屯清和街

水四四洗疊疊 式便所受 注內 交各の合 料品雑 指 定に下 さあ

絶好の

チ

ス逸する

勿れ

高を示せり、之に反し先物出廻薄とは言へ常月は最盛出廻期に入れることとて本出廻期に入れることとて本出廻期に入れることとて本出の以前に大連より二、三厘場は常に大連より二、三厘場は常に大連より二、三厘場は一 月中相場は大の如-「哭され」、公共六 前月 常月 前 の如し(單位キロ

五七 五七 五七

週) 月中に於ける相場は( 月中に於ける相場は(

物は(単位)二二七二五前年同月

萬磅に比較して一劇弱の減少 【東京國通】昨年度の對香港 「東京國通」昨年度の對香港

筋関屋の質進に再び持直し 部間の商内出來高を見たり 然れども下旬に入るも田舎 實需方面の買氣起らざる爲 早くも荷動き不振に陷りて 一服商狀を呈し先行懸念さ るゝに至り年末を控へて不 安裡に越月せり 今月中に於ける當地への入 奇別中に於ける當地への入

の財政自治を目指す

成

を行ひ、警察署とも協力して ぬるので、營口地方事務所で は附屬地全般に 亘り地劃整理

るたゝめ頗る不統一で登記其 と郵便局とで三様に認定して を報告して

【營口國通】營口附屬地は

整

營口附屬地

最も不良な狀態と言はれてゐ 一位を占有して來た英國が、 一位を占有して來た英國が、 中年度に於て俄然第二位に下 り、日本が第一位を占のたこ とで、一九三三年度までは日 本の輸入は英國の約半分にし か達して居なかつたものが、

聯盟武器委員會 「ジュネーッ州日愛國通」國際聯盟武器製造取引委員會は 二月十四日から 一、武器製造取引委員會は 一、武器製造取引委員會は 一、武器製造取引委員會は 一、米國提案の審査

時に一部町名の變更をも行ふの許で準備を行つてゐるが同の許で準備を行つてゐるが同根本的に測量のやり直しから

あん \$ 二三元 友 社

各種計 製圖 算器

話六八食 五九番堂 門司、神戶(大阪)行

光疾風池田屋斬のために愛刀虎

風 絕 際食 佳

v b

政府當

局は

解散を覺悟

せよ

無所の問題で最近とかくの をされてるた文教部總務司長 があつて解意を決し三十日 があつて解意を決し三十日 があつて解意を決し三十日 があつて解意を決し三十日

につき貴族院各派の意向を綜

會を切拔けるため政友と安

給末問題が全く五甲 が、これは例の爆弾 が、これは例の爆弾

具族院各派の意向

駐日財務官

の杜撰を政府自ら認めたこ

辭せ以覺悟を以て既

を得ざるときは解しく一切の妥協を

時節柄注目さる

藏相の答辯

信消化力の限度を固執するも 相がかくる答辯をしたのは公

債消化力の限度を固執する

的態度に出たのでは

當つて述べたもので直接爆弾のではないことを答辯するに

曜

possessesses

日本は欧

曾議

貿易統制で

我陸軍當局の

る事にしたい

と思つてゐる

臣の訓示並に指示事項の提示と関務總理の訓示、臧民政部大の議に入り、鄭明はいが、先づ滿洲國皇帝に拜謁

な

ら山崎農相と舊政友系を中心 とする白重派との妥協工作が とするとしても政府とし では民政黨並に

をしては政友會の内部情勢が全く混沌として強敵妄會の内部情勢が全く混沌として強測し難く質意が那邊にあるか判明せぬのでうつかり手を出す事も出来

問

會を開催、爆弾動議の三主要 治救濟を協議して對政府態度 治救済を協議して對政府態度

會

商工省 業者

には發展性は無いと見てゐる「東京國通」陸軍側でも外蒙 發展性 の提言に

昨日外務省で開催

愈々協定案文作成に着手

遲くも三月初旬調

の如き意向を有してゐる

モロトフ氏應酬

は世界經濟會議所との進 大変であったが外電計報の如 との設は過解來歷々傳へられる。 をの設は過解來歷々傳へられる。 をであったが外電計報の如 をであるとは米鑁にその準 大世界經濟會議所催は帝國政 は世界經濟會議所催は帝國政 は世界經濟會議所催は帝國政 は世界經濟會議所催は帝國政 は世界經濟會議所能力 を製られるが外務當局に於て と関いて、大體左 以て招集され 教する處であ 教する處であ

で、右世界經濟自動の他通貨空間、 で、右世界經濟自動のの意を有する。 は、一九三三年の で、方世界經濟自動である。 で、方世界經濟自動である。 で、方世界經濟自動である。 で、方世界經濟自動である。 で、方世界經濟自動である。 で、方世界經濟自動である。 で、方世界に世界經濟自動である。

開催に有利に展際経済會議が通商障であるが通商であるが通商通いに、世界経済の歌が、世界経済の歌が、一定年のロンドンであるが通商通 で有する

招集に關する 世界經濟會議

省當局の意向

外務

の希望と全然一 就いては歐洲護 職時碍の緩和及 一、然し乍ら通貨 輸出割害、輸 開されて居る 開催に至る迄の豫備的折衝の間に依然複雜な關係があるからこの點に闖して會議るからこの點に闖して會議を対して會議を対して會議を対しては歐洲諸國と米國と

長官は上院農業委員會で左の (ワシントン関連) ハル関務。

省省長會議

とは期待することが出來ない、勿論關稅制度で保護を 受けてゐる各國の産業界は 関稅低下に猛烈に反對する だらうが米國政府が關稅引 下げを開始すれば各國の産業界は とは期待するとは期待するととは期待するととは期待するととは期待すると ブリズム 双眼镜

眼涛 田丁里系

交換開始 替交換は二月一日より

挨拶がある豫定である

魔し

東 早 山 製油 所

馬 石揮 發

電話五五四

奉天宇治町十四番地

んで關税障壁を低下

郵協定通

製

油油

新京興安大路四〇二

一大東京日

市山縣通一八二番地下山縣通室町二丁目一番地

替に就ては總し山海關郵局始されたが、滿洲國側振出

司では一日より山海關郷局構中國側山海關為替交換局に交中國側山海關為 品取 目扱

ラニュー のエニュー 六九ハハ六 三八八四〇 夏 買 三二二二三三四七匹〇 五六六四一八〇三四二

長

席

株式會量

社所三保 段 段 段 財 社 倉 長 井 り 税 り り り

問題で卅日夜シュトラテマイ 神戶會商好轉 催か 來週早 K

早々會議開催の を主とし関印側の を主とし関印側の まで補足し、日本 ののた結果、空に は、日本 選びとなる模 気好轉、來週 の要求次第英 間の要求次第英 り廿一日迄三日間新京に於て 開催されるが、同會議は地方 一行政の確立の上に重大なる意 機の十省總務廳長會議と共に 可視されてゐる 十省省長會議は二月十九日よ新制度實施後第一回の滿洲國

| 兩國政府間に於ける舊債務整 | ハル國務長官は卅一日の米リ | 日 米リ舊債交渉 IV 長官决裂言明 **智宮明した**日宮明した

錦ピル第第第

三 經 營

會 高橋 誠相 今日まで執つ 上せる災害對策費もあること 関 て来た自分の財政はインプ いて目下各地に派遣した調査 に と見得を切り午前中は野中君 直に追加豫算の計上を承認す と見得を切り午前中は野中君 直に追加豫算の計上を承認す と見得を切り午前中は野中君 るといふ政友會に對する妥協 ケ とり は かい か は の 数 相 の 容 辞 は で あったのが 此の 数 相 の 容 辞 は で あったのが 此の 数 相 の 容 辞 は で あったのが 此の 数 相 の 容 辞 は で あったのが 此の 数 相 の 容 辞 は で あったのが 此の 数 相 の 容 辞 は で あったのが 此の 数 相 の 容 辞 は で あったのが 此の 数 相 の 容 辞 は で あったのが 此の 数 相 の 容 辞 は で あったのが 此の 数 相 の 容 辞 は で と 見得を切り 午前中は 野中君 るといふ政友會に對する 妥協 延長第一日目の豫算總會

教部總務司長

招待 日本陸大出身者を以て組織す 日本陸大出身者を以て組織す 陸大出身者 同窓武官 見に依つて

> 濠洲側求價主義條約案提出 の輸入増加を期す

0 出 の御 命

宅 新京錦町三丁目を観話。近七四八条

一十日新京發歸國

田會議の劈頭ガレット次官よして出席、濠洲政府からはガレット次官が出席した、第一 事往來

> II 電

話

三三〇〇百八〇

濠通 商條約交涉

於て開會、日本代表として村 渉は卅一日からキャンベラに 渉は卅一日からキャンベラに

本小川雪松氏(陸軍少佐)三十一日午後四時發四平街へ 十一日午後四時發四平街へ 一課長)一日午前八時五十 分着大連から

果然大好評裡に 待望の名著出づり

財政部 宮脇賢之介氏撰著 獎麗獎於人百頁定價多個

微妙なる動向を示しつるある。 加豫算を計上する意思ありとなく直ちに之を以て歳相が急

の財務行政に過誤なきを期する為、駐日財務官設置の議が 有力化して來たのである、右 につき星野財政部總務司長は

御誘して來た、 中佐、上海駐在 中佐、上海駐在

求償主義を基調とした左の如

高教授 東京帝大書記官、女帝教授 東京帝大書記官、女帝教授 東京帝大書記官、女元年満洲國入りをしたもので元年満洲國入りをしたもので元年満洲國入りをしたもので 要だ、種々研究の上設置すめら専門の財務官は勿論必から専門の財務官は勿論必から専門の財務官は勿論必がの事がある。 後新設銀行に

々裡に行はれる 南京の會員全部 西省首席熊式輝

夜日本側より三

一、日本政府は日本に對する一、日本政府は日本に對する、農洲よりの輸出貿易の維持を保證し或種産薬部内に於を保證し或種産薬部内に於のは輸出の伸張を圖ること

へ 稲川新輝長の就任によって断然この問題が解消さるれば新然この問題が解消さるれば新 標長の初の御手なみに對して 古人は漢底の講意を表したい ▼現在の新京驛に對して市民 は多くの希望を持つてある、 古後利害關係をもつ市民としては當然のことではあるが肝

腎の當局者には從來余り熱が肝

してゐたかといひたい▼ ならない筈だ、何をぐづ

何をぐづん

題ではなくこんなことは疾くり…▼今更らの問

洲

展に取つては何よ 質施されそうなの は被害者の吾々市

嚴選主義で臨む

滿洲國財政部方針

又はその他の營業所を有す

が洲奥満に関する

は れがためにある一部の人々か ちは疑惑視されるやうな結果 をも生じたが、これも常局者 自身の罪といへば罪である▼ この際多數市民の際に聴いて 嚴 松 堂 書 店 大阪屋號書店 大阪屋號書店 發 兌

兩院に擡頭

をたる現象を呈し三十日午後 一旬を関したが早くも情報される。 「趣音も殆んどが の衆議院の如きは本會議も

選が漸大震成されつかあるか を達成に至り政府部内を始め政 た倉の張硬派、民政黨、貴族 に整頭し來つた事は註目すべ に整頭し來つた事は註目すべ を事である、殊に民政黨、貴族 が、これは例の爆弾動議の後 を事である、殊に民政黨が後か ない。 を事である、殊に民政黨が後か ない。 を事である、殊に民政黨が後が ない。 を事である、殊に民政黨が後が ない。 を持ち回に解し、 を持ち回に解し、 を持ち回に解し、 を持ち回に解し、 を持ち回に解し、 を持ち回に解し、 を持ち回に解し、 を持ち回に解し、 を持ち回に解し、 を持ちの を持ち政 が、これは例の爆弾動議の後 を持ちの を持ち政 を持ち政 が、これは例の爆弾動議のを を持ち政 を持ちな をもな 今後益々日本との交渉に緊密 頻繁が強想されるので、専門 が動動がに於て目下種々研究中 であるが、七月の新會計年度

**静を観察し起債其他の對日** 當時日本に滯在同地市場の 本助

一大行の登業を許可して全議金融統制の第一歩に乗出した 強州國財政部は今後新設される銀行に對しては嚴選主義を 以て臨み今後の金融統制をした は、1000年の第一歩に乗出した は、1000年の第一歩に乗出した は、1000年の第一歩に乗出した は、1000年の第一歩に乗出した **養産信用共に確實なること** ・銀行發起人並に設立後經 三、新京特別市 別市及奉天市 以上 なりては を絶對的必要條件とし又組を加べる に本店、支店 吉林市、營口

四

四、縣公署所在地にして特に萬圓以上 店又は其他の營業所を有す るものに在りては國幣二十 

有吉、鈴木更に中央進 大他 と傳へられる、同問題に就て 組合に對しては各地の商工會 な 強 を は 通貨價値の引下げには 莫大 に 対 せば財界を大混亂に にれるもの であるとの見地から浙江財 ついたるとの見地から浙江財 ついたるとの見地から浙江財 ついたるとの見地から浙江財 ついたるとの見地から浙江財 ついたるとの見地から浙江財 ついたるとの見地から浙江財 ついたるとに 大 選所 (職の (場) を (場) されて (表) を (場) で (は) で

を 圖る 物價調節で協調

外人を裁く涉外庭

新京にも設置

治外法權撤廢への豫

重大な一

出海國通」日本の在支出先 常局が支那の神經中樞ともい かしたことは日安廟國線係に 歩したことは日安廟國線係に 一、廣田外相の對外方針の趣 旨を支那側に諒解させ、日 本が決して對支侵略の意思

なる策謀を行ふ場合日本は、支那が日支關係に不誠意

滿洲事情紹介

を 時によつて満洲國入りする日本 市によつて満洲國入りする日本 市によつて満洲國入りする日本 市によって満洲國入りする日本 が、大審院被事局、 技訴院部長級の勅任官數名あた。 とみられてゐる のとみられてゐる

如何にして此の注文に

日本の三博覧會に對する

對博宣傳方針决定

常務理事によつて決定するこ 常務理事によつて決定するこ とゝしたが、使用拒絶の場合

を解除すること勿論であるの三つを理由とし、指定の 1、催物の内容不充實の懸念1、中込期日散約済のため

本多事務所長 本多事務所長

一、使用豫約濟の場合と雖一項を嚴守せられたして。

新京記念公會堂

と有るを強め了知し置かれ際は難的變更或は解除のこ

依る損失は本公會

室内に於ける使用

用雑約金は使用前日

よるか又は或る種の政府借款に不可能なるべし之に代るべ

支報告書を懸察署及ひ公會に屬する有料催物は事後收に屬する有料催物は事後收許可を得るを要す 火氣に充分留意

洲國公債を公衆に費出すこ

備の大部分を處分せしむ 至るべく遂に滿洲國は國幣

資募 ○ (集 邦

郎に依り打撃を受けつつあーのは目下國幣間相場の強調

常なる進步を遂げたるが こコ

町 迅速 山村疊製作 總 電話二二七九番 領事 館西

\$

ちつい

た御座敷

族的で

高尚なー

集

本は繼續的に滿洲を支持

右希望者は履歴書持参本人御來店下さい 保販 名 實なる身元保證のある方 質なる身元保證のある方

ダイヤ街 米と酒 TO

一庭球協會は本年 を監衝の結果、山 決定、出場ゾーン 決定、出場ゾーン を送つてあたに これ迄三名乃 た、これ迄三名乃 た。これ迄三名乃 手を送つてあたに

名を決定

割

烹

電三〇六〇番

和洋酒罐詰類

日本第二段の工作に費するこ

楽廳情報處を中心に外交部、 管業部、國都建設局等を委員 として設置された對博官傳工 作委員會では數回の委員會を 開催宣傳工作の具体方法を考

の記念スタンプ記念切手をなほ交通部では皇帝御訪日

英國產業聯盟

日滿視察團報生

曾敦化支部役員の改選による【敦化支局】大日本國防婦人

目種業營

食料品雜貨

世帶道具一式

御諸 用官 達應

電話

敦化「國婦」

新役員决定

▲講演會、座談會の

東京大阪南市で各新聞社百貨店と協力して滿洲展覧會

カイン であるが、更に近く日本よ 質化せんとしてある折柄注目を司法機關の充實に大童とな が治外法権問題がいよう (現) 別には建國以來司 り司法官を招聘司法機關の飛 満洲國司法部では建國以來司 り司法官を招聘司法機關の飛

間に於ける滿洲の經濟的發展

價格を以て處分せらるるや否の農産物が多量引合ふ程度の

→満洲展覽會開催

日本機械を輸入、

た映書「新生榮光」三卷を一には内容の氣づかはしいもの 使用 強力が 満洲國建國狀況を主題とし 利用がいや増すれつれて、中 使用 者心に映畵宣傳

三博覧會開期中に「滿洲國

使用はお断り

新京記念公會堂使用者心得

り同銀行は從來の四紙幣發行一九三二年新京に設立された

痔疾科 小兒科 >

三二〇五 の六 ヘロイン中毒 ŧ

宗軍職召員手牒、 一朝事變あるに際し民族革命 に依りて獲得せられたる蒙古 に依りて獲得せられたる蒙古 民族共和國の自由、組國、經 養及獨立を腐敗せる封建主義 衛兵士たるべき應召員が終始 都兵士たるべき應召員が終始 を受くべき自め心得べき必須 を受くべき自め心得べき必須

(四) 本手牒所持人と同年齢の男子が召集を受くることの男子が召集を受くることもらば本手牒所持人は即時自ら村役場に出頭することを要す、何等か召集完了迄を要す、何等か召集完了迄とを要す、何等か召集完了迄

六、外蒙赤軍應召

役場に出頭し指導を受く第二項記載に准じ自ら村第二項記載に准じ自ら村は同分に旅行する場合は

古

を登録することを要すけ村區經由村役場に行先地

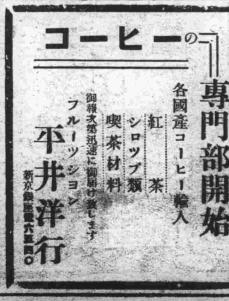


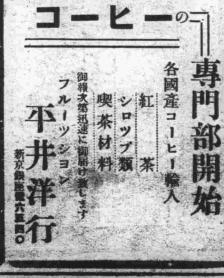
新京朝日通電話五七九四番 司

部意

文タイピスト生徒募集

邦 文タイピスト養生所日本タイプライター株式會社 各國産コーヒー アルーツション シロップ プ











を建いでゐる新京高女線全騎女學校中最も満洲語

幕僚随員並に在旅官民を招待 官は三十一日午後六時より官 に旅順國通)竹下陽東州應長 官は三十一日午後六時より官

福休康するので官吏は 三日の日曜かち入日まで六日

月分の俸齢 に支給された

れたので何れるほく いな線上げて昨一日 いる。

れた、休日中のブランをたて、の料もどの料も

云ふことが間違ひですよ、 もわかりません、わかると が二十日間位の観察で何

滿鐵語學試驗

るやりだが満洲語をやるものは少いやりだ、本校ではしてゐるので満洲一といってよい、これからも大いにてよい、これからも大いになると今の所何處へ行つてもると今の所何處へ行つても

爲すべき

もの

高女から七名合格

た者七名に對し三十一日通譯 の免狀到着夫々特與した氏名

新舊二度

のお正月やすみに

日至

官吏連大喜び

竹下

般に小學校の先生は

一學級五、六十名以 のではどう のではどう

曜

唯今 印鑑を開送り致 を適當に處分し吾家の生活 安定を計つて下さいね、で は賴むこの身が白骨に化し ても貴兄を信頼し吾家の成 長を新る次第です、吾が母

どろ

お金持の學校

が か六十八名、其の中上級學校 か六十八名、其の中上級學校

本校では満洲語は一年二年 として毎週三時間宛やつて ある、希望者には科外とし て数へてあるが非常に熟し た、過般沿線の女學校を見 たがどこも英語は好んでや

日 七十萬立方呎に 出れるので事變後から今日までの需要増加率からみて一日 およる設備が行

新京教化聯盟の九年度決算報 で、卅一日の加入團体代表者

本昭和十年度後算書 一、金十九圓八十一銭也 一、金十九圓八十一銭也

不足分は各

はないである、上及100mmに対している。 はないである、上及100mmに対している。 はないである。となっては はないである。となっては はないである。となっては はないである。と及100mmに対している。 はないである。と及100mmに対している。 はないである。と及100mmに対している。

其他裁縫學校保姆養成所で

土)

石丁町 は元より何かない私の身非人道的ない私の身非人道的ない私の身非人道的なでせられ、總べてを費兄にでせられ、總べてを費兄にでせられ、總べてを費兄にでせられ、總べてを費兄にでせられ、總べてを費兄にでせられ、他ですれ生きで動をかくよりは死して一切ををかくよりは死して一切ををかくよりは死して一切ををかくよりは死して一切ををかくよりは死して一切ををかくよりは死して一切ををかくよりは死して一切ををかくよりは死して一切ををかくよりは死して一切ををかくよりは死して一切ををかくよりは死してした。

新京高女を巣立つ

雛鳥の行方は?

及斯會社新京支店ではこの解 水期を書つて新に三十五萬立 カ灰を容れる大瓦斯タンクを 大阪を容れる大瓦斯タンクを 一日の瓦斯使用量は平均三十 一日の瓦斯使用量は平均三十 一日の瓦斯使用量は平均三十 一日の瓦斯使用量は平均三十 方呎をいれる現タンクでは需 要者に完全な供給をすること が出來すタンク増設と同時に 瓦斯製造能力にも

中年 の一月末からみ

内 藤井氏 ・ 株長春堂舎附 10、10 ・ 大西常代氏寄附 10、10 ・ 大西常代氏寄附 10、11 ・ 婦人團体聯盟寄附 10、11 ・ 婦人團体聯盟寄附 10、11 ・ 場人團体聯盟寄附 10、11 ・ 大西常代氏寄附 10、10 ・ 大西常代氏宗 10、10 ・ 大西常代宗 10 ・ 大西宗 10 ・ 大西宗

本昭和九年度決算報告 、金一百五圓十七銭也一、金一百五圓十七銭也一、藤井氏 第700 一、藤井氏 第700 一、藤井氏 第700 一、藤井氏 第700

1五ヶ年間は、 が少いため瓦。 が少いため瓦。 大部分が個人 一月末の使用

用者は五千九百八 利の合所であるが 利の合所であるが

日く上級學校、職業戰線等々

嫁仕度の

人もある

豫算 不足は寄附に

年度 (繰越)

差引發十九圓八十一錢也(翌

になるです、最後の御顧なが家の面倒をみて下さいねだけ解決出來れば私は 死に依つて總でを清算する のが本望です、哀れ四人の のが本望です、哀れ四人の が最非私に代つて面倒をみ て下さるでせらね

る小學校を見て來ましたが しの金持の子弟が集つてる しの金持の子弟が集つてる して、大阪では日本 して、大阪では日本 して、大阪では日本

悪人ながら家族を思ひやる。

大大・は に男は逃亡してしまつた後で に男は逃亡してしまつた後で に男は逃亡してしまつた後で に男は逃亡してしまつた後で は 黒鳴の父 世童は二人の仲を知り激怒のあまり縣當局に こ人を捕へやうとしたが、既 に男は逃亡してしまつた後で は 親だけを逮捕、取調べを行った後で は 黒鳴の父 世童は二人の仲を知り激怒のあまり縣當局に こ人を捕へやうとしたが、既 に男は逃亡してしまつた後で た結果 黒鳴っ人が起訴された は 黒 黒鳴っ人が起訴された に ころが に ころが 昨年八月 に ころが 昨年八月 に と ころが 昨年八月 に ころが に ころが

需

要者

夕

ク増設

ガス

會社が解氷早

· A 着工

と」なつてゐる

しの遺書

断たれた鴛萬事窮し選に死を 連としたものらしく又外交部 たものと推測される推して男が既に逃走の雄路を 子を欺き喜薬を服用せしめ道 くらまさんための手段であつ李への遺書その他の事情から 決意し馴染を重ねてるたハッ 々員と偽つてゐたのは犯罪を

るといふ贅澤なので

頗る虫のい

V

## 果然!寬城子心中 暗轉

### 當の金川こご金柱洪 貫は公金横領 兀朝鮮全羅南道某金融組合書記 の大犯

べき重大犯人のお尋ね者である事が同人の遺書で判明するに至った中を遂げた自稱外交部々員金川義一事金柱洪(三)は調査の結果實は恐る夕刊既報=寛城子ロシャ街料亭玉川抱へ酌婦宮下ハツ子(一八)と毒薬心

李某の指示を受け組合の金二 と偽名し横領金中一部六千圓 で動務中上役人 在に潜伏場所を失ひ金川義一 京城本町署に直に本籍地融組合(捜査上 での罪を背負ひ一時京城に逃 に逃走してゐたものである新融組合(捜査上 での罪を背負ひ一時京城に逃 に逃走してゐたものである新融組合(捜査上

合意心中?

仮に残された謎

戀愛をするに

驛の手小荷物 舊正さは いへ平常

きがない舊正月 > しては主と 荷物取扱事務所では齎正用の 荷物としては別に活潑な荷動

全日休業

自たいと申込

もに手小荷物の移動が激増すい、併し來月末になれば土建い、併し來月末になれば土建

表城縣人會で 京で本年度總 とになつた會

り休業するので、\* その時も左の通 その時も左の通 午後休業

では來る七日午後 土町二丁日割烹新 三圓、および普通 同きは當日持參あ 人は六日正午まで 込は六日正午まで 縣人會 年度總會

なつた、主催は大東會新京支宗家歡迎演奏會を催すことに

慰問のため來京、旅装をとく を慰問し歸京、二月十五日午 を慰問し歸京、二月十五日午 院藤旭鷹三氏を伴ひ在滿皇軍旭中、法審院庭瀬旭洋、法凱黎谷旭紅氏は高弟法眞院的野

満洲國官廳の **多期窮民救** 

察團に送付 濟義金

ノ申合セニ依リ臨時休業可來ル二月四、五日舊正ニツ

仕半

間合此銀

時休業廣告

紹介

加

署では左の如く義捐金窮民救済のため滿洲國

第四千五百余圓をもつて第一 「大田」の 高四千五百余圓をもつて第一 で募集、これに社會事業聯合 を募集、これに社會事業聯合 を募集、これに社會事業聯合

待ち兼ねの

テ

モ

味のよい

小大

樽 (正味十六貫入) 一樽金七圓六十銭 樽 (正味 四貫入) 一樽金二圓五十銭 「二」 宅 牧 担

が漸く完成したので此度英米で版を東京で作製中であつたな版を東京で作製中であつたが、大概(全三卷)の英

懲役にやられる

粹か無粹か満洲國の

#

四回

昭和九年十二月三十

取扱品目

各國產羅紗、

軍服地、

大使館を通じ英國産業視祭園大使館を通じ英國産業視祭園大典、観兵式等の歴史的場間が、観兵式等の歴史的場の新東の場所を開発を表現の大使館を通じ英國産業視祭園

相 通を聞する法」といふ法律が | 令を援用するの件」はこの若 | 面帯 代に「十六才以上の男女の私 た数令第三號「暫く從前の法 でも 一覧を認めないのだ、清國時 なり、大同元年三月發令され | 面か | 判決を下した、謄儀を重んじ 「漸行刑律補充係令」と改め | 付か | 判決を下した、謄儀を重んじ 「漸行刑律補充係令」と改め | 付か | 判決を下した、謄儀を重んじ 「漸行刑律補充係令」と改め | 付か | 対象行猶餘三年といふ厳しい | あつたのが民國初期になつて | 並

物排借械込

卸糸類、

其 他 洋服附屬品

加藤洋行新京支巾

電話三七三一番新京日本橋瀬十五

絹布、別珍、アルパカ、芯地

消 金 五五二 11四次 100元 11四次 11四次 110元 111 息

町四町目へ(東京府) 居 住

居 積立

◆中塊屋紋次郎氏昌平胡同から三笠町四丁目十五番地陸 ち三笠町四丁目十五番地陸 大海田弘氏芙蓉町から住吉町 一丁目六番地四十二號へ 一丁目六番地四十二號へ 一丁目六番地四十二號へ 一丁目六番地四十二號へ 一丁目六番地四十二號へ 一丁目六番地四十二號へ 一丁目六番地四十二號へ 一丁目六番地四十二號へ 右ノ通リニ

諸書類作成日滿鮮通譯

滿洲國商標登

辯護士

黑山實法律事務

事務所移轉

日滿民刑事訴訟 顧問及鑑定貨家貨地管理

成出の部で、一、金二百二十五間也

▲小菅新一郎氏説町から実際 一大野誠一氏吉野町から富士 町三丁目三番地へ 大野誠一氏吉野町から富士 町三丁目三番地へ ・ 「護路六百六號順天寮二階 ・ 「養」

候

一丁日十三番地ノ四へ下野地の古場番がら古野  部、滿鐵地方事務所、特別市 会援することになつてゐる、 會費一圓五十錢多數の來聽を 望むと 吉野町子 雷五五二 兒科

師語例 神社の基準のないである。 番五一四四表代話電(隣南社神)通中中京新

● 釈洋食英出前出張 お調理致シマス● 昭和十年一月三十日之為念謹告仕候 元,帳 場 元,帳 場 廣告候

支木ス

お京職業権四二二統
が京職業権四二二統

日一月二年十和昭

也 **湍正橫溝朝東株** 洲隆濱洲鮮洋式 中銀正銀銀拓會 **新城殖** 行行株社 金 新新式新 京东东京京

行店店店店旅行

4 9 随時 जा 電話三 E Ė 公學堂 Б



### とになったのである 法祥院深谷 前琵琶宗家 新費 当、0 新費 当、0 10、0

島

者

に

急告

縣

人に告

金二圓五十銭(常日持金)金二圓五十銭(常日持金)

を致模

**茨城縣人** 

元外交員

橋

H

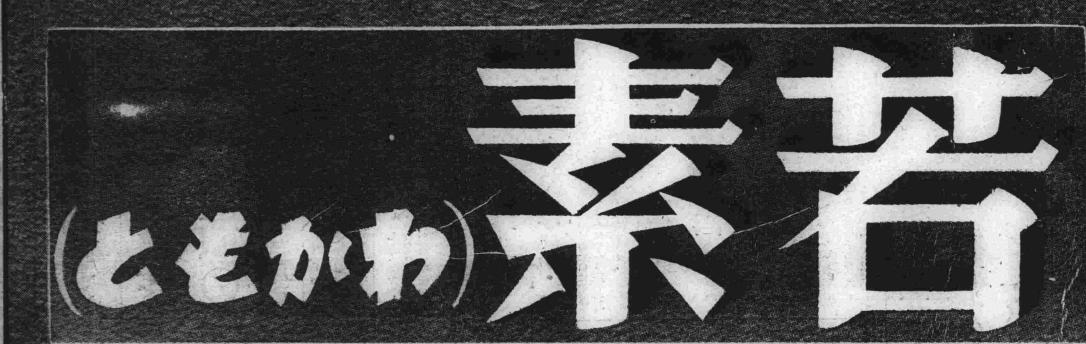
場

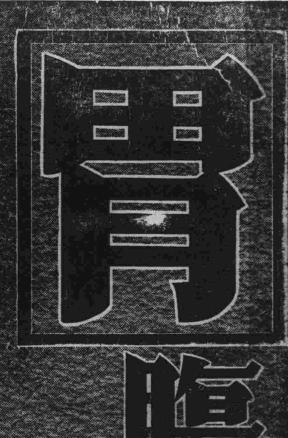
工 電 司

解雇致シウダ

後解店ト

告





因子、症狀が錯離複綜せる為であって、その凡ての 胃腸疾患が単純なるかにして容易に治癒し難きは種子、症狀に對して適應する處置は別し得られな 然るにか、る胃腐疾患の種皮相にも自ら共通せる一點が存する一即ち胃腸を組織せる細胞の要合効果な苦素(わかもと)の投典はこの共通せる因子を捉へて助かる活性酵素と、貴重なる築養素との綜合効果な著素(わかもと)の投典はこの共通せる因子を捉へて動力なる活性酵素と、貴重なる築養素との綜合効果なる細胞賦活作用により、衰弱せる組織和しの機能衰弱力を賦興し、以て消化を助け、食慾を增進しる細胞賦興し、以て消化を助け、食慾を增進しる細胞賦興し、以て消化を助け、食慾を増進しる細胞賦興し、以て消化を助け、食慾を増進し 目 酸過多症にあつては鹽酸の分泌過剰を正常に に用なく順調なる生理的排便をも正便に復すー が回過敏を正常に復して下痢便をも正便に復すー 一剤にして症狀の相反する下痢、便秘に奏効するは 若素、わかもと)が區機能を細胞より强化せるを立證せ である。 その他、胃潰瘍、胃下垂、胃擴脹等 をある。 その他、胃潰瘍、胃下垂、胃擴脹等 である。 である。 である。 である。 である。 でのして下痢便をも正便に復すー をいまた弛緩せる腐管を賦活してその に変効するは、 に変対するは、 に変がするは、 に変がする。 に変がする。 に変がするは、 に変がする。 に変がするは、 に変がする。 に変がなが、 に変がなが 食慾を增進し 合もあるが、その虚弱體質、小兒豚病質等は器質的疾患に原因する場 榮養を増進し **勝機能を強化す** 衰弱 を恢 注 業養素の協力は必然的に、結核體質、一般衰弱に見るべき効果を齎す。 に見るべき効果を齎す。 に見るべき効果を齎す。 に見るべき効果を齎す。 に見るべき効果を齎す。 に見るべき効果を齎す。 に見るべき効果を齎す。

若素(わかると)に

由来、有名樂に類似品の類出するは免れぬところで、若素(わかもと) もその例に洩れず諸種の類似婆と称するものが夥しく思いを選なしとて類似婆を勸める向があるやうであるが、若素(わた。異なしとて類似婆を勸める向があるやうであるが、若素(わた。異なしと、本の放外を破壊せざるやう製剤したものでに、外観形態は類似するとも、その効果に於て本剤と同様をあって、外観形態は類似するとも、その効果に於て本剤と同様をあって、外観形態は類似するとも、その効果に於て本剤と同様をあって、外観形態は類似するとも、その効果に於て本剤と同様をあって、外観形態は類似するとも、その効果に於て本剤と同様をあって、外観形態は類似するとも、その効果に於て本剤と同様をあって、外観形態は類似であるとも、その効果に於て本剤と同様をあって、対してはなりません。 用藥なし 等を起すのみならず例へば灰分の攝収が不足すると姙娠中毒、歯漏、貧血焼産婦の築養は直ちに胎兒、到兒の養育を決定する。 姙産婦の貧血 腫を消退す

病弱細胞の賦活更生作用に加ふるに

\*\*\*

ーに方の上買お(ともかわ)素若一

醫學博士

小田美穂著

日常食品六十種の を譲いて居りますが、部数に限りがあります。 を頂いて居りますが、部数に限りがあります。 を頂いて居りますが、部数に限りがあります。 を頂いて居りますが、部数に限りがあります。 を頂いて居りますが、部数に限りがあります。 を頂いて居りますが、部数に限りがあります。 を頂いて居りますが、部数に限りがあります。 品学養價圖表 新聞一員大四 **門腸讀本** + 大質

以性衰弱症 虚弱乳幼兒 税及下痢 ・ 食慾不振・ 胃潰 ・ 食慾不振・ 胃潰 指便·虛弱人工樂 消化不良·錄便· 氣・神經衰弱 りエス・貧血・脚 りエス・貧血・脚 疲勞老妻 胃脇カダル 精神作業のエネ 中年期衰弱・早 不足・胎兒の榮養 の衰弱・乳汁分泌 養見・腸カタル 應 ギー補給 症

園公芝市京東本日・元賣發 會の兒育と養榮 鉄

